

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平2-80318

⑬ Int. Cl.¹

G 11 B 7/125
7/135

識別記号

A 8947-5D
Z 8947-5D

⑭ 公開 平成2年(1990)6月20日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

⑮ 考案の名称 光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造

⑯ 実願 昭63-157335

⑰ 出願 昭63(1988)12月2日

⑱ 考案者 滝島 俊 東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社

⑲ 考案者 奥田 功 東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社

⑲ 考案者 森田 卓 東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社

⑳ 出願人 旭光学工業株式会社 東京都板橋区前野町2丁目36番9号

㉑ 代理人 井理士 松岡 修平

㉒ 実用新案登録請求の範囲

(1) レーザ光源からのレーザ光を光路分割素子を介して光ディスプレイ情報面に照射して情報を記録すると共に、該光ディスプレイ情報面からの反射レーザ光を前記光路分割素子により屈曲させて光検出器に導く光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造であつて、レーザ光源から出射される前記光路分割素子により屈曲されて該光路分割素子から外部に出射するレーザ光を、光学ブラスタックにより形成された全反射プリズムにより屈曲させてモニタ光検出器に導き、該モニタ光検出器によるレーザ光検出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成したことを特徴とする光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

(2) 上記光学ブラスタックにより形成された全反射プリズムの光学面のうち少なくとも一面を凸状に形成し、該全反射プリズムに前記レーザ光の集光効果を持たせたこと、を特徴とする請求項(1)記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

(3) 上記光学ブラスタックにより形成された全反射プリズムに、上記モニタ光検出器位置決め部を一体形成したこと、を特徴とする請求項(1)記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

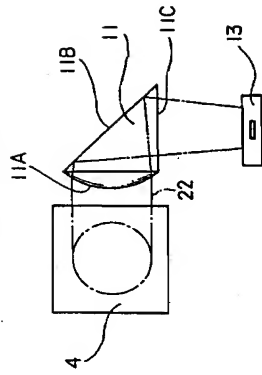
(4) 上記光学ブラスタックにより形成された全反射プリズムに、当該全反射プリズムを固定する為の取付部を一体形成したこと、を特徴とする請求項(1)記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

図面の簡単な説明

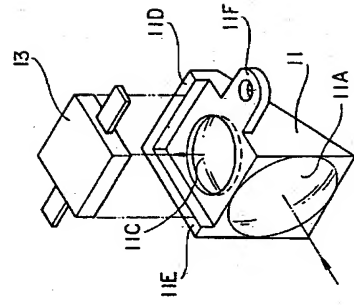
第1図は本考案に係る光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造の一実施例の概略構成を示す斜視図、第2図はそのII-II矢視図、第3図A、B、Cは夫々他の実施例を示す図、第4図はモニタ用フォトダイオード位置決め部と当該全反射プリズムを一体に形成した実施例である全反射プリズムの斜視図、第5図は従来例の斜視図である。

1...半導体レーザ (レーザ光源)、4...ビームスプリッタ (光路分割素子)、11...全反射プリズム、11A...入射面 (全反射プリズムの光学面)、11B...反射面 (全反射プリズムの光学面)、11C...出射面 (全反射プリズムの光学面)、11D・11E...位置決め部 (モニタ光検出器位置決め部)、11F...取付部、13...モニタ用フォトダイオード (モニタ光検出器)、20...レーザビーム (レーザ光源からのレーザ光)、22...反射レーザビーム (光路分割素子により屈折されて当該光路分割素子から外部に出射するレーザ光)。

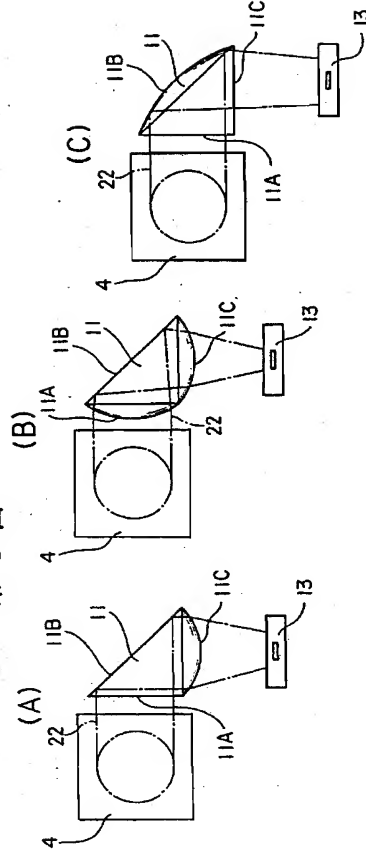
第2図



第4図



第3図



第5図

